NEWS RELEASE

企業情報

2025年4月28日

TOTOトイレの最上位商品「ネオレスト」国内・海外累計出荷台数400万台突破

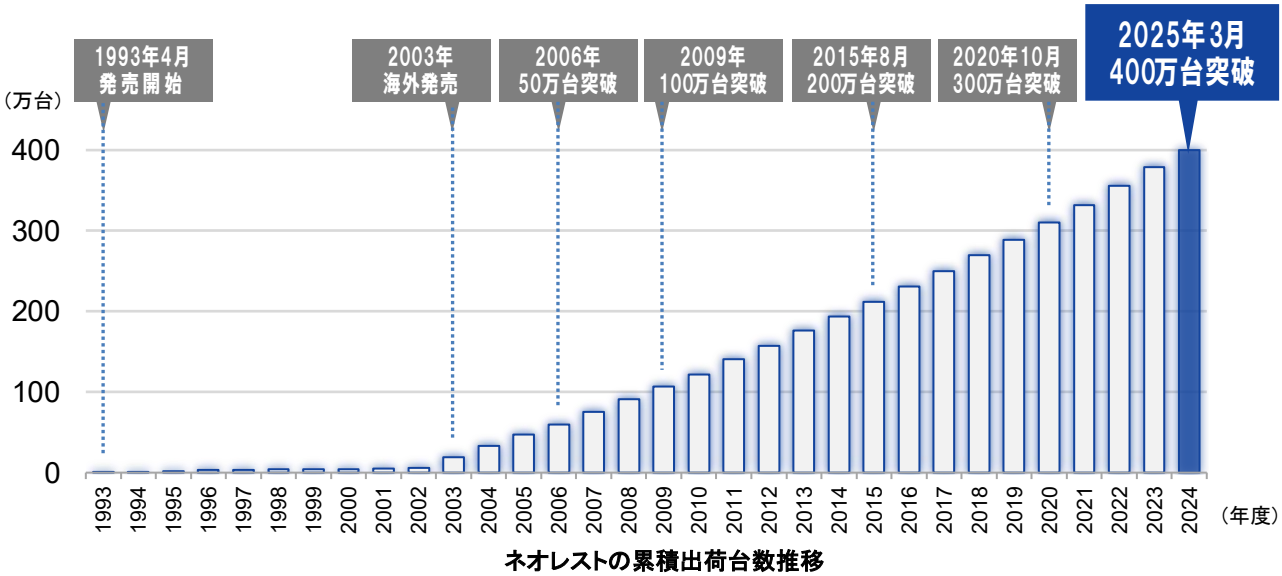
～ウォシュレット※1一体形便器全体は2024年7月に累計出荷台数1300万台を突破～

TOTO株式会社（本社：福岡県北九州市、社長：田村　信也）の**ウォシュレット一体形便器「ネオレスト」が、2025年3月に国内・海外合計で累計出荷台数400万台を突破**しました。

「便器でない便器をつくる」。従来の固定観念をすててTOTOが持つ技術を結集し、機能、デザインすべてにおいてお客様に最高水準の満足を提供できる次世代トイレを目指して、ネオレストの開発プロジェクトがスタート。**業界に先駆けて、温水洗浄便座と一体になった便器の上にタンクが無いローシルエット形状のトイレの開発に成功**、1993年4月に「ネオレストEX」を発売しました。洗浄水量はそれまで主流だった13Lから8Lへと大幅な節水を実現。デザインも世界を見据えたものでした。以降30年以上にわたり、機能とデザインを磨き続け、**iFデザイン賞、レッドドット・デザイン賞など世界的なデザイン賞を受賞するとともに洗浄水量も節水が進み、現在では3.8Lにまで**減少しています。今ではTOTOを代表する商品の一つとして、日本のみならず世界で広く愛用されています。また、1987年から販売を開始した**ウォシュレット一体形便器は、ネオレストを含めてこれまでに累計出荷台数1300万台を突破（2024年7月）**しています。

TOTOは、今後も各国・各地域のニーズにあわせて「ネオレスト」をより進化させ、快適で清潔なトイレ文化を国内外に広めてまいります。

※1：「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です



ネオレストの累積出荷台数推移

ネオレストについて

ネオレストは、「新しい（Neo）トイレ（Rest-room）」という意味が込められているウォシュレット一体形便器です。初代「ネオレストEX」以降、TOTOトイレの最上位商品として、テクノロジーとデザインの両面でトイレの“新常識”を次々と生み出し、レストルームの新たな文化を創造し続けています。

ネオレストの歴史　※『』は商品名、「」は機能・技術名

1993――**『ネオレストEX』発売**（4月）
新洗浄方式「シーケンシャルバルブ方式」の開発により、洗浄水量（大）8Lという
従来の40%減の大幅な節水とタンクレスデザインを実現

1993『ネオレストEX』

2002――**新『ネオレストEX』発売**（7月）
便器内側のフチ裏部を無くした「新型フチ形状」や水流を旋回させて便鉢全体を洗浄する
「トルネード洗浄」、ナノレベルで便器表面を滑らかに仕上げる「セフィオンテクト」で
便器の清掃性が向上

おしり洗浄の際、水玉の連続吐水によって少ない水量でたっぷり感のある洗い心地を
実現する「ワンダーウェーブ洗浄」の搭載で節水性が向上

2006――**『ネオレストA』発売**（8月）
機能部を便器のラインと一体化させ、汚れの溜まりやすいフチ裏を無くした
「フチなしウォシュレット」の搭載により、清掃性が向上

便フタのヒンジ（開閉の軸）を本体の最後部に移し、便フタが便器を包み込む
“フルカバー”構造とすることで、シンプルでシャープな形状を実現

2006『ネオレストA』

2007――**『ネオレストハイブリッドシリーズ』発売**（6月）
水圧に左右されない「タンク式」とタンクレスでコンパクトな「水道直圧式」の長所を
併せ持つ独自の洗浄技術「ハイブリッドエコロジーシステム」の開発により
洗浄水量（大）5.5Lを実現しマンションなどの低水圧の場所でも設置可能に

2009『ネオレストAH』（左）
『ネオレストRH』（右）

2009――**『ネオレストAH・RH』を発売**（8月）
ハイブリッドエコロジーシステムをさらに進化させた洗浄水量（大）4.8Lの実現や
男性が小用を足した際やお掃除の際などに使える「eco小ボタン」（3.8L洗浄）
の設置により節水性が向上

RHタイプは、便座・便ふたに断熱材を内蔵することで便座からの放熱を抑えた
「ダブル保温便座」の搭載により、約30%の節電を実現

AH＝シンプルで直線的なデザイン
RH＝柔らかな曲線でやさしい印象をもったデザイン

ネオレスト累計出荷台数100万台突破（6月）

2011「ノズルきれい」

2011――**「きれい除菌水」「ノズルきれい」搭載**（2月）
きれい除菌水＝水を電気分解して作られる除菌成分（次亜塩素酸）を含む水

ノズルきれい＝使用後のノズルをきれい除菌水で除菌

2012「便器きれい」

2012――**「便器きれい」搭載**（2月）
便器きれい＝きれい除菌水を使用後の便器にふきかけ、便器のきれいが長持ち

便器内部の形状の見直しにより洗浄水量（大）3.8Lを実現

2015「においきれい」

2015――**「においきれい」搭載**（2月）
トイレ空間のにおい成分を除菌水フィルターで捕集して脱臭

ネオレスト累計出荷台数200万台突破（8月）

2017『ネオレストNX』

2017――**グローバル統一モデル『ネオレストNX』を発売**（8月）
ウォシュレットと便器の“真の一体形”を実現したフラグシップモデル

「エアインワンダーウェーブ洗浄」を搭載（8月）
ワンダーウェーブ洗浄の水玉に空気を含ませて大粒化し、
おしり洗浄のたっぷり感をさらに向上

2022『ネオレストLS』

2020――**ネオレスト累計出荷台数300万台突破**（10月）

2022――**『ネオレストLS』発売、「便座きれい」搭載**（8月）
金属調のアクセントカラーを導入し、NXに次ぐグレードとしてラインアップに追加。
レストルーム／バスルーム空間のコーディネートがさらに楽しめるように

便座きれい＝便座裏にきれい除菌水のミストをかけ、便座裏のきれいが長持ち

2022「便座きれい」

2025――**ネオレスト累計出荷台数400万台突破**（3月）

デザインの変遷

ウォシュレット一体形便器「ネオレスト」は「便器で無い便器を作る」というテーマのもと、日本のタンクレストイレの草分けとなる商品として1993年に誕生しました。2017年にはウォシュレットの機能部分を陶器に内包した真の一体形便器として機能とデザインを両立させたネオレストNXが誕生。2022年には優美な曲線で空間を上質に彩るハイデザインタイプのネオレストLSをラインアップしました。

1993年発売
ネオレストEX

2006年発売
ネオレストA

2017年発売
ネオレストNX

2022年発売
ネオレストLS

TOTO公式noteでは、ネオレストの歴代デザイナーたちが語る「トイレデザインの挑戦」について紹介しています（3話に分けて公開）。

第1話　1993年、初代ネオレストEX誕生　https://note.com/toto_ltd/n/n674fee223e9a
第2話　シンプルを極めた定番タイプの誕生　https://note.com/toto_ltd/n/ncc7c4359724d
第3話　グローバルに拡がる「ネオレスト」の世界　https://note.com/toto_ltd/n/n07d307a04ae4

ネオレストシリーズの主な社外評価（過去10年）

＊海外向け商品

西暦	受賞・評価名	評価機関	対象商品・技術（発売年）
2015	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストAC＊
	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストRH（2015）
2016	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストDH（2015）
	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストDH（2015）
2018	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストNX（2017）
	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストNX（2017）
	ゴールドセレクション賞	公益社団法人日本インダストリアルデザイナー	ネオレストNX（2017）
2019	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストAH／RH（2017）
2020	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストDH（2017）
	建築設備技術遺産	一般社団法人建築設備技術者協会	ネオレストEX（1993）
	全国発明表彰　発明賞	公益社団法人発明協会	ネオレストNX（2017）
2022	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストLS／AS（2022）
	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストLS／RS（2022）
2023	iFデザイン賞	インターナショナル・フォーラム・デザイン	ネオレストWX＊
	レッドドット・デザイン賞	ノルトライン・ヴェストファーレ・デザインセンター	ネオレストWX＊
	GREEN GOOD DESIGN AWARDS	シカゴ・アテナイオン建築・デザイン博物館 ヨーロッパ建築アートデザイン都市研究センター	ネオレストNX／LS／AS／RS（2022）
2024	ワールドスター賞	世界包装機構 （WPO：World Packaging Organisation）	ネオレストWX用の段ボール包装材 「らくらく施エアシスト付包装」

ネオレストに搭載している機能

使うたびに「きれい除菌水」で除菌

ノズルきれい

「ウォシュレット」使用前後に水でノズルを洗浄する「セルフクリーニング」に加え、トイレ使用後「きれい除菌水」が、ノズルの内側も外側も自動で洗浄・除菌。使用していないときも定期的に洗浄することで、ノズルのきれいが長持ちします。

便器きれい（ネオレストRSはRS3グレードのみ）

使用前に、便器ボウル面にミスト（水）をふきかけて、汚れをつきにくくします（プレミスト）。さらに、使用後と8時間使用しないときには、「きれい除菌水」のミストを自動でふきかけ、見えない汚れを分解、菌を除菌。トイレが自分できれいを守るから、きれいが長持ちします。

便座きれい

トイレ使用後に「きれい除菌水」を便座裏の先端部分までふきかけ、汚れをしっかり漂白・除菌。ふだん見えず、汚れに気づきにくい便座裏のきれいが長持ちします。

きれい除菌水

きれい除菌水※1は、水※2に含まれる塩化物イオンを電気分解して作られる除菌成分（次亜塩素酸）を含む水です。薬品や洗剤を使わず、水から作られます。きれい除菌水は安全性の観点から水道水質基準※3の範囲内の濃度で作られており、安全※3で、さらに時間がたつともとの水に戻る※4ので環境にやさしいのが特長です。

※1 きれい除菌水の除菌効果　試験機関:（一財）北里環境科学センター　試験方法:電解水の除菌効力試験　除菌方法:電解した水道水と菌液を混合し除菌効果を確認　試験結果:99%以上（実使用での実証結果ではありません）　効果効能:きれい除菌水は、汚れを抑制するもので清掃不要になるものではありません。使用・環境条件（水質、対象物の材質・形状、汚れの程度など）によっては、効果が異なります。水道水を除菌したという意味ではありません。
※2 水道水および飲用可能な井戸水（地下水）です。（浴室は水道水のみ）
※3 きれい除菌水の水質安全性　試験機関:（一財）岐阜県公衆衛生検査センター　試験方法:電解水の水道水質基準適合性調査試験　検体:電解した水道水／電解水の原水回帰後の水／寿命末期の電解槽で電解した水道水　試験結果:水道水質基準を100%順守
※4 きれい除菌水の原水回帰特性　試験機関:（一財）日本食品分析センター／（一財）岐阜県公衆衛生検査センター　試験方法:電解水の原水回帰特性試験　検体:電解した水道水　試験結果:約2時間にて原水回帰
※5 きれい除菌水の分解効果　試験機関:（一財）日本食品分析センター／（株）東レリサーチセンター　試験方法:オレイン酸の電解水による分解試験／タンパク質分解立証試験　検体:オレイン酸（電解水浸漬）／BSA（電解水浸漬）　試験結果:95%以上分解（実使用での実証結果ではありません）／79%分解（実使用での実証結果ではありません）
※6 きれい除菌水の漂白効果　試験機関:（一財）日本食品分析センター　試験方法:実尿の色素成分におけるきれい除菌水の漂白効果　検体:ウロピリン水溶液（電解水浸漬）　試験結果:50%以上漂白（実使用での実証結果ではありません）
※7 きれい除菌水の有効塩素濃度　試験機関:（一財）岐阜県公衆衛生検査センター　試験方法:電解水の有効塩素濃度測定試験　検体:電解した水道水　試験結果:5ppm（WHO飲料水水質ガイドライン値）以下

「トルネード洗浄」

渦を巻くようなトルネード洗浄が、少ない水で効率的に洗浄します。汚物が付着しやすい便器後方に勢いよく水が当たるので、汚れをしっかり洗い流します。また便器正面から吐水口が見えないので、見た目もすっきりしました。

「フチなし形状」

汚れがたまりやすいフチ裏をなくした便器形状。手前から奥までぐるりとフチなしなので、汚れが見えにくかった死角もありません。トイレ掃除はサッとひとふきで完了です。

「オート機能」

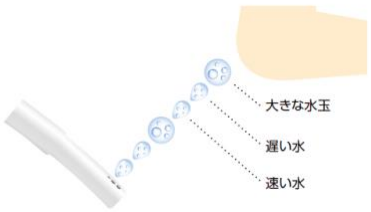
だれにでも快適に使えるトイレをめざして、使う人の動きに合わせてさまざまな機能が自動で作動。トイレに入るときから出るときまで、面倒な操作を行うことなく快適に使えます。

「エアインワンダーウェーブ洗浄」

流速の違う洗浄水を交互に噴出する事で水玉を連射するワンダーウェーブ洗浄。その水玉に空気を含ませることで、たっぷり感のある洗浄を実現しました。少ない洗浄水でも快適な洗い心地が特長です。
（ネオレストNX、ネオレストLS、ネオレストASの「おしり洗浄」に採用）

空気を含ませて水玉を大粒化する エアインワンダーウェーブ洗浄
水玉に空気を含ませることで、水の一粒一粒を約30%拡大。エコと洗い心地を両立しました。

ワンダーウェーブ洗浄
流速の違う洗浄水を交互に連射して大きな水玉を作り、強さをもたらします。少ない水量でパワフルな洗浄力を実現します。



共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康

環境

人とのつながり

「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標（SDG s）」にも貢献していきます。

https://www.toto.com/en/corporate/